

谷江武士教授略歴

学歴

- 1945年3月 香川県に生まれる
- 1968年3月 法政大学社会学部卒業
- 1968年4月 法政大学大学院社会科学研究科経済学専攻修士課程入学
- 1970年3月 法政大学大学院社会科学研究科経済学専攻修士課程修了(経済学修士)
- 1970年4月 駒澤大学大学院商学研究科博士課程入学
- 1975年3月 駒澤大学大学院商学研究科博士課程単位取得満期退学
- 1999年11月 博士(商学, 駒澤大学 博商乙第2号)の学位授与。

職歴

- 1972年10月 南日本短期大学経営科専任講師(1977年3月まで)
- 1977年4月 暁星商業短期大学専任講師(1981年10月まで)
- 1981年11月 加茂暁星短期大学(校名変更)助教授(1986年3月まで)
- 1986年4月 名城大学短期大学部助教授(1989年3月まで)
- 1989年4月 名城大学短期大学部教授(2002年3月まで)
- 1989年4月 名城大学商学部兼任講師(1996年3月まで)
- 1992年4月 日本福祉大学経済学部兼任講師(1996年3月まで)
- 1995年6月 名城大学短期大学部長(1999年3月まで)
- 1999年4月 名城大学商学部兼任講師(2002年3月まで)
- 1999年4月 日本福祉大学兼任講師(2002年3月まで)
- 2001年4月 名城大学大学院経営学研究科経営学専攻
修士課程兼任講師【担当科目: 経営分析研究・実践経営分析研究】
(2003年3月まで)
- 2002年4月 名城大学経営学部教授(現在に至る)
- 2003年4月 名城大学大学院経営学研究科経営学専攻
修士課程M○合教授【担当科目: 経営分析研究・実践経営分析研究
・会計学演習】(現在に至る)
- 2004年4月 東邦学園大学経営学部兼任講師(2015年3月まで)
- 2004年4月 名城大学経営学部経営学科長(2006年3月まで)
- 2006年4月 名城大学大学院経営学研究科博士課程D○合教授【担当科目: 会計
学原理特殊研究】(現在に至る)
- 2007年10月 名城大学国内研究員として立命館大学に留学(2008年3月まで)
- 2009年4月 名城大学大学院経営学研究科主任教授(2013年3月まで)

学会及び社会における活動等

- 1973年10月 日本経営学会会員（現在に至る）
1974年6月 日本会計研究学会会員（現在に至る）
1979年10月 社会主義経営学会（現、日本比較経営学会）会員（現在に至る）
1985年10月 会計理論学会会員（現在に至る）
1986年5月 日本会計史学会会員（2013年5月まで）
1990年10月 会計理論学会 会計監査人（1992年9月まで）
1992年10月 会計理論学会 幹事（1996年9月まで）
1998年10月 会計理論学会 常任理事（2001年9月まで）
2001年10月 会計理論学会 理事（2004年9月まで）
2003年9月 会計理論学会 学会賞審査委員（2004年9月まで）
2006年4月 大学基準協会 評価委員（2015年3月まで）
2007年4月 大学基準協会 経営系専門評価分科委員（私立大学評価）
（2008年3月まで）
2007年3月 日本経営学会 学会誌掲載論文審査（2007年9月まで）
2007年10月 会計理論学会 理事（2010年9月まで）
2009年10月 会計理論学会 スタディグループ研究代表（2011年10月まで）
2010年10月 会計理論学会 常任理事（2013年10月まで）
2013年10月 会計理論学会 理事（2016年10月まで）
2014年6月 労務理論学会会員（現在に至る）
2016年3月 会計理論学会 学会誌掲載論文審査（2016年10月まで）
2009年4月 名城大学経営学部10周年記念実行委員長（2009年9月まで）

谷江武士教授研究業績

(著書)

(単著)

1. 『自主管理企業と会計—ユーゴスラヴィアの会計制度』 大月書店 1988年
2. 『基本経営分析』 中央経済社 1993年
3. 『ユーゴ会計制度の研究—所得分配会計変遷史—』 大月書店 2000年
4. 『事例でわかる連結経営分析』 中央経済社 2002年
5. 『(改訂版) 事例でわかる連結経営分析』 中央経済社 2006年
6. 『キャッシュ・フロー会計論』 創成社 2009年
7. 『事例でわかるグループ企業の経営分析』 中央経済社 2009年
8. 『東京電力・原発事故の経営分析』 学習の友社 2017年

(共著) (分担執筆を含む)

1. 『現代の会計監査』 日本評論社 1974年
2. 『現代会計学』 大月書店 1983年
3. 『先端技術と地場産業』 日本経済評論社 1986年
4. 『批判会計学の展開』 ミネルヴァ書房 1986年
5. 『先端技術とテクノポリス』 日本経済評論社 1988年
6. 『企業再構築と経営分析』 ミネルヴァ書房 1990年
7. 『東京電力』 大月書店 1990年
8. 『現代会計・課題と展望』 ミネルヴァ書房 1991年
9. 『簿記の理論と技法』 ミネルヴァ書房 1991年
10. 『社会と会計』 大月書店 1995年
11. 『NEC／日本IBM』 大月書店 1997年
12. 『現代経営学序説』 同文館 1997年
13. 『減損会計』 東京教育情報センター 2000年
14. 『日本の新会計基準』 東京教育情報センター 2000年
15. 『電力』 大月書店 2000年
16. 『ハイテク時代の新しい企業会計・公共会計制度のポイント』 東京教育情報センター 2001年
17. 『現代産業と経営分析』 多賀出版 2001年
18. 『中小企業新会計制度の重要ポイント』 東京教育情報センター 2003年
19. 『国際会計基準を考える』 大月書店 2003年
20. 『現代経営と社会』 八千代出版 2004年
21. 『企業会計の構造と変貌』 ミネルヴァ書房 2005年

22. 『経営分析入門』 三恵社 2005年
23. 『経営から視る現代社会』 文眞堂 2008年
24. 『日本の製造業を分析する』 唯学書房 2010年
25. 『内部留保の経営分析』 学習の友社 2010年
26. 『経営・会計入門』 創成社 2013年
27. 『経営分析の現代的課題—内部留保を中心にして』（会計理論学会スタディグループ, 代表者, 谷江） 2011年
28. 『内部留保の研究』 唯学書房 2015年
29. 『経済成長の幻想』（分担執筆） 創成社 2015年

(学術論文等)

1. 「アメリカ会計研究」 『南日本短大紀要』 第5号 1972年
2. 「企業分析—鹿兒島銀行」 『企業法研究』 第231号 1974年
3. 「企業分析—日本石油」 『企業法研究』 第246号 1975年
4. 「企業分析—ゼネラル石油」 『企業法研究』 第260号 1977年
5. 「ペイトン会計学に関する一考察」 『会計』 第111巻 1977年
6. 「『基礎的会計理論』研究」 『南日本短大紀要』 第6号 1977年
7. 「連結財務諸表制度の現代的役割」 『暁星論叢』 第8号 1978年
8. 「ユーゴスラヴィア会計に関する研究」 『暁星論叢』 第9号 1978年
9. 「ユーゴスラヴィア会計情報制度に関する考察」 『社会主義経営学会研究年報』 第5号 1980年
10. 「ユーゴにおける効率指標に関する一考察」 『暁星論叢』 第12号 1980年
11. 「ディスクロージャー会計の変化」 『暁星論叢』 第13号 1981年
12. 「インフレーション経済におけるペイトン会計理論」 『暁星論叢』 第15号 1983年
13. 「ユーゴスラヴィア会計における勘定計画とバランスに関する考察」 『暁星論叢』 第17号 1984年
14. 「ユーゴスラヴィアの監査制度—社会会計局の監査を中心にして」 『暁星論叢』 第18号 1985年
15. 「ユーゴスラヴィア会計制度の特質」 『名城商学』 第37巻1号 1987年
16. 「日本石油の企業分析」 『名城商学』 第37巻4号 1988年
17. 「ユーゴスラヴィアの会計制度」 『会計理論学会年報』 第2号 1988年
18. 「ユーゴスラヴィアにおける会計原則（1986年）」 『名城商学』 第41巻第3号 1991年
19. 「ユーゴスラヴィアの会計法草案（1991年）」 『名城商学』 第42巻第3号 1992年
20. 「スロベニアの新監査制度」 『名城商学』 第44巻第4号 1995年
21. 「旧ユーゴにおける資本・損益会計への変化とインフレーションの影響—

- 1989年会計原則・91年会計基準草案を基にして」『名城商学』第46巻第2号 1996年
22. 「ユーゴ所得分配会計制度の生成」『名城商学』第46巻第4号 1997年
23. 「ユーゴ会計制度の展開と構造—所得分配会計を中心にして」『名城商学』第48巻第1号 1998年
24. 「規制緩和の展開と日本企業」『名城大学総合研究所紀要』第4号 1999年
25. 「企業社会と退職・年金会計—年金の積立不足を中心に—」『会計理論学会年報』第14号 2000年
26. 「広島地域における産業空洞化問題の今日的様相」『名城大学総合研究所紀要』第8号 2003年
27. 「電力自由化のもとの東京電力の経営分析」『名城論叢』第4巻第4号 2004年
28. 「新潟県における三条・燕産地の産業集積と産業空洞化問題—アンケート調査を中心にして—」『名城論叢』第5巻第4号 2005年
29. 「日本IBMの経営における財務的特徴」『名城論叢』第6巻第4号 2006年
30. 「電力企業の現状と課題」『名城論叢』第8巻第4号 2008年
31. 「電力産業の財務構造の変化」『名城論叢』第11巻第4号 2011年
32. 「東京電力の原子力発電事故の経営分析」『名城論叢』第12巻第4号 2012年
33. 「内部留保は何に使っているか」『経済』(204号) 2012年
34. 「電力会社における総括原価方式—原子力発電と関連して—」『名城論叢』第13巻第4号 2013年
35. 「原発過酷事故を倫理的・道義的に考える—経営分析の面から—」『日本の科学者』 2014年
36. 「電力会社の廃炉会計と電気料金」『名城論叢』第15巻特別号 2015年
37. 「大企業の社会的責任をあらためて考える—高収益と増える内部留保の現状から—」『月刊保団連』(1216号) 2016年
38. 「電力会社の廃炉会計に関する比較研究」『名城論叢』第17巻第4号 2017年

(辞典)

1. 会計学中辞典編集委員会編『会計学中辞典』青木書店 2005年

(その他の著作)

1. 「加茂暁星短大での思い出」『新潟中央短期大学三十年史』 1998年
2. 「鈴木幹久先生の思い出」『野あざみの歌』 1999年
3. 「坂口康先生の人と学問」『国際会計基準を考える』 2003年
4. 「長坂先生の思い出」『みんなで乾杯』幹書房 2006年

5. 書評 森章著「ロシア会計の歴史と現代」『日本の科学者』 2003年
6. 『簿記』(単著) 三恵社 2003年

(学会報告)

1. 「ペイトン会計学に関する一考察」1976年5月 日本会計研究学会全国大会
(於 専修大学)
2. 「ユーゴスラヴィア会計情報制度に関する考察」1980年4月 社会主義経営
学会全国大会(於 龍谷大学)
3. 「ユーゴスラヴィアの会計制度」1987年10月 会計理論学会全国大会(於
法政大学)
4. 「森教授報告コメント」1991年10月 会計理論学会全国大会(於 熊本商
科大学)
5. 「企業社会と退職・年金会計一年金の積立不足を中心に」『会計理論学会年
報』第14号 会計理論学会全国大会(八戸大学) 2000年
6. 「電力会社における総括原価方式」日本経営会計学会全国大会講演(名城大学)
2013年
7. 「電力会社の廃炉会計と電気料金」日本比較経営学会全国大会 CALL FOR
PAPER セッション(於近畿大学) 2015年